

2021年8月19日
8/20 9)に追記しました。

DUNLOP 全日本ジュニアテニス選手権 '21
supported by NISSHINBO
出場選手 各位

(公財) 日本テニス協会
トーナメントディレクター
西村 覚

DUNLOP 全日本ジュニアテニス選手権 '21 supported by NISSHINBO
大会要項一部変更のお知らせ

全国的な感染者数の増加が見られるため、政府から緊急事態宣言の実施区域および、実施区域の拡大と大阪府の期間延長が発表されました。

現在の状況下においても、日本テニス協会としては、スポーツ活動はジュニアプレイヤーに取って健康の維持増進はもとより、望ましい心身の発育・発達を促進するという点からも不可欠なものと考えています。さらに、ジュニアプレイヤーにとって、発育期にスポーツ場面を通じて、目標をもち、その目標に向かって努力を続けることの意義を学ぶことは、人格の形成の面からも重要な意味を持つ活動と捉えています。スポーツ庁からも、「大会等は、子供たちにとって日頃の活動の成果を発揮できる貴重な機会であると考えておりまして、十分な感染防止対策を講じた上で、できるかぎり実施していただきたい」との連絡を受けています。

しかしながら、昨今の感染症の拡大、特に大阪府における10万人あたりの新規感染者発生数の増加を踏まえると、無症状の感染者も増加していることが予測でき、感染拡大を予防して大会を実施するためには、無症状感染者や未だ症状のない初期感染者による感染拡大をできるだけ防止する追加の対策が必要と判断しました。

以上により、大会開始の直前ではありますが、下記の点について大会要項を変更させていただきます。下記変更点をご了解頂いた上で大会に参加頂きますようお願いいたします。全日本ジュニア選手権大会を、選手みなさんのために、また社会全体のためにも感染拡大を予防して安全安心に実施したいと考えています。

記

- 1) 引率者数（IDをお渡しする人数）を、選手1名あたり2名から1名に変更します。
(接触回数を減らす、密を避ける為)
- 2) 大会に参加するすべての選手に対して、唾液検体によるPCRスクリーニング検査を実施します。また参加選手は、PCRスクリーニング検査の実施に同意したものとします。

- 3) 試合への参加・来場を禁止する条項に、PCR スクリーニング検査の陽性判定を追加します。大会参加者は、PCR スクリーニング検査の結果に基づく、その後の大会への参加の可否判断は大会運営側もしくは日本テニス協会にゆだねるものとさせていただきます。
- 4) PCR スクリーニング検査は、外部の信頼できる検査専門機関に検体を輸送して実施しますが、検査にかかる費用は大会側の負担で実施します。この検査のための選手からの費用負担はありません。
- 5) 1 回目は、各選手の初戦受付時に唾液検体をチューブに入れて提出してもらいます。
(受付時にスタッフからチューブを渡します) 検査結果の陽性者には当日、または翌日に連絡しますので、検体提出時に必ず連絡のつく連絡先を提出してください。
- 6) 勝ち上がった選手に対しては、3R 勝ち上がり後に 2 回目の検査を予定しています
(会場にて詳細をお知らせします)。
- 7) 大会で選手に対して実施する検査は、大会独自のスクリーニング検査であり、大会への検査判定後の参加可否判断に用います。本検査で陽性となった選手は、無症状であっても医療機関の受診を強く推奨します。その後の治療等や行動は、医療機関の指示に従ってください (両会場に医師を配置する予定ですが、会場での治療はできません。)
- 8) 大会が実施する検査は、選手のみを対象とします。引率者は、事前に居住地にて PCR 等の検査を受けられることを推奨します。
- 9) 上記の変更により大会への参加を辞退する場合は、日本テニス協会に事前にお申し出ください。参加料を返還させていただきます。なお、その他の宿泊、交通機関のキャンセル料等については、日本テニス協会は負担しません。
お申し出先：alljapanjr@jta-tennis.or.jp (①氏名、②種目とドロージャー番号、③参加辞退の理由を記載してください)

選手・関係者のみなさまにはご協力を御願ひすることになりますが、大会の開催を維持するためにもご理解頂きますようよろしくお願い致します。

以上